

事業参加（便カラーカード持っている）群と事業非参加（便カラーカード持っていない）群の2群比較を行う。

自治体によっては、保護者がどちらの群に属するか区別できないため、両方のアンケート用紙を配布し、保護者が該当する群の用紙に回答し、返送した。

多くの自治体において、参加群として「4か月検診受診者」、非参加群として「1歳半検診受診者」をリクルートした。

2) 行政アンケート

平成23年12月に、パイロット事業に参加している27自治体の担当者へ、神奈川県を通じてアンケート調査を実施した。

3) 医療機関便色調査

平成23年9月から12月に、協力の得られた13医療機関から1か月検診における情報を収集した。

4) 胆道閉鎖症早期発見

パイロット事業期間に胆道閉鎖症と診断された児の診断日齢や手術時日齢を、胆道閉鎖症研究会登録データを用いて、他の地域と比較した。

C. 研究結果

1) 保護者アンケート

アンケート配布数は、パイロット事業参加者（便カラーカードお持ちの方）2664、非参加者（便カラーカードお持ちでない方）2741、両方（両方のアンケート調査票を受け取り、該当のものを回答）4345であった。回収数を表1にまとめた。また、得られた回答を表2-24にまとめた。

2) 行政アンケート

パイロット事業に参加した27自治体の担当者全員より回答が得られた。回答者の属性は、保健師93%、保健師・助産師3.5%、医療職3.5%であった。

主な結果は下記の通りである。詳細な結果

は資料1として添付する。

① 便カラーカードを配布してよかった（全体的な感想）と感じますか

1 よかった （23名）

→〈主な理由〉

- ・胆道閉鎖症の周知ができ、関心が高まったから。
- ・保護者への意識付けができ、児の便観察のきっかけになったから。
- ・病気の早期発見に役立つから。実際に早期発見された事例があったから。
- ・言葉で表現しにくい色でも目で見てわかるので。

2 よくなかった （0名）

3 どちらでもない （4名）

→〈主な理由〉

- ・事後の反応がなく、実際の効果が分からないので。
- ・病院でも配布されている場合があるので。

② 便カラーカードは、住民（保護者・児）に役立ったと思いますか

1 役立った （22名）

→〈主な理由〉

- ・児の便観察のきっかけになったから。
- ・医療機関への相談・受診につながったから。
- ・保護者への意識付けができたから。
- ・便を色見本と見比べることができ、判断や説明がしやすいから。
- ・住民から、役立ったという声がよせられたので。

2 役立たなかった （0名）

3 どちらでもない （5名）

→〈主な理由〉

- ・住民からの反応がなく、わからないので。
- ・まだあまり活用されていない様子なので。

・きっかけづくりには役立ったと思うから。

③ 便カラーカードの配布は、貴市町村にとって負担でしたか

1 負担であった (6名)

→<主な理由>

- ・便カラーカードのセッティング等、配布準備作業が負担だったので。
- ・説明の時間が増えたので。
- ・市医師会や医療機関との調整が必要だったので。
- ・便色1~4番の対象者が出たときの対応があったため。

2 負担ではなかった (12名)

→<主な理由>

- ・母子健康手帳交付時に、他の資料と一緒に配布したため。
- ・説明の資料等、用意されたものを配布すればよいので。
- ・対象者の人数が多くなかった。
- ・医療機関の理解・協力が得られたので。

3 どちらでもない (9名)

→<主な理由>

- ・作業は増えたが、大きな負担ではなかったから。
- ・負担はあったが、行う意味があったから。

3) 医療機関便色調査

13 施設で合計 1130 名の情報提供があった。1 か月検診時に保護者に対し、主に①便カラーカードの使用、②1 番薄かった時の便色の番号、③現在の便色の番号について聞き取っていた。詳細な結果は表 43 にまとめた。

- ① 便カラーカードを使用した保護者は 726 名で 64%であった。
- ② 一番薄かった時の便色は、4 番が最も多く 416 (57.3%) であった。

③ 現在の便色は、5 番が最も多く 464 (64%) であった。

④ 一番薄かった便色 1 番から 4 番であった場合に、現在どの便色に変化したかを表 44 にまとめた。4 番が 5 番に変化した場合が最も多く、246 (57%) であった。

⑤ この 1 ヶ月検診より前に便色が心配で医療機関を受診した児は 26 名おり、その時の便色は 4 番が最も多く 22 名 (85%) であった。

⑥ さらに、血液検査を受けた児は 8 名であり、この 8 名の一番薄かった便色は全員 4 番であった。

4) 胆道閉鎖症早期発見

パイロット事業期間にパイロット参加地域において胆道閉鎖症と診断された児は 3 名だった。この中で、パイロット事業参加者は 2 名、非参加者は 1 名であった。参加者 2 名の診断日齢は平均 40.5 日、手術时日齢は平均 49.5 日であった。一方、2010 年の全国データ (胆道閉鎖症研究会登録) では、スクリーニングなしの場合の診断日齢は平均 50 日、手術时日齢は 65 日であった。

D. 考察

胆道閉鎖症において最も重要なことは早期発見であり、今回の開発では、「家庭で」「非専門家が気づき」「できるだけ早期に医療機関へ相談に行く」ことを目標としている。本研究に着手した段階では、「よい色」のカードを開発し「もれなく」配布しさえすればよいと考えていた。しかしながら、神奈川県下でパイロット・スタディの準備を進める過程において、1) 「もれなく」配布してもらうための行政の理解と協力体制整備、2) 胆道閉鎖症という病気の重篤さ・早期発見の重要性についての保護者の理解、3) 胆道閉鎖症は 9,000 人に 1 人という稀な症例のため、大多数の医師が遭遇したことがなく情報が不足しているので医療情報の提供、4) 産科

と小児科の連携強化、5) 地域内の基幹病院や三次医療機関の連携強化、6) 行政と医療の連携強化が必須であることが明らかとなってきた。

パイロット・スタディを実施した神奈川県は9,005,176人(2009年)と非常に人口規模が大きく、医師数・医療機関数も多い。理論上、パイロット期間中に7から10人の胆道閉鎖症患儿が発生する試算であるが、実際には3人しか把握されなかった。把握もれがあるとするならば、手術実施を想定していた神奈川県および周辺の病院以外で診察された可能性が考えられる。

本年度は、3か月ごとの便カラーカードの見直しと改定を行った。昨年度より懸案事項であった黄色のインクの劣化を避けられないため、使用期限ではなく製造年月を記載した(資料2)。その後、最終版では使用期限を明記することとなった。また、カード使用上の注意として「①直射日光の下に放置しないこと、②使用期限以降は使用しないこと」をカードに明記した。また、便を確認して記録する欄を2回から10回に増やし、切り離れたカードを山折りにできるようおり線を付けた(資料3)。

便カラーカードを用いた新システムパイロット・スタディの評価の最も重要である早期発見につながったか、という部分は、患儿が少なく検定を行うことはできなかった。しかしながら、診断日齢や手術時日齢が全国平均より約10日短く、早期発見への有用性の可能性が示唆された。

行政担当者へのアンケート結果からは、概ね便カラーカードが有用であったという評価が得られた。

保護者へのアンケート結果からも、有用性がうかがえる。パイロット事業に参加し、便カラーカードを持っていた保護者のうち、111名が赤ちゃんの便が「おかしい・不安」と感じて医療機関に行った。その中で96名(86%)が便カラーカードを参考にしたと回答していた。また、パイロット事業に非参加で、便カラーカードを

持っていなかった保護者のうち、1464名(96%)が、「もし、便カラーカードを持っていたら使用した」と回答していた。

1年間設置したコールセンター、メールセンターへの問い合わせは電話31件、メール14件であった。問い合わせの内容を資料4にまとめた。

E. 結論

本年度は、便カラーカードを用いた胆道閉鎖症早期発見のための新システムの評価を行い、その有用性が示唆された。平成24年4月より、母子健康手帳へ便色カード(改変便カラーカード)が一体化され、今後は全国で利用が進むであろう。しかしながら、本パイロット事業より、カードの普及のみならず、産科・助産と小児科、二次医療機関と三次医療機関の各医療連携が非常に重要であることは明らかである。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

守島亜季, 坂本なほ子, 松井陽「胆道閉鎖症に対する便色カラースクリーニングのその後」小児内科2011:43(6);1082-1084

H. 知的財産権の出願・登録状況

表1 回収数

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
横浜市	392	26.2	588	38.2
茅ヶ崎市	54	3.6	-	-
松田町	17	1.1	-	-
逗子市	45	3.0	53	3.4
大磯町	13	0.9	11	0.7
中井町	16	1.1	6	0.4
藤沢市	156	10.4	347	22.5
横須賀市	-	-	114	7.4
(上記以外の横須賀市、 川崎市、相模原市、小田原市、大和市、 海老名市、葉山町、大井町、三浦市 箱根町、湯河原町、愛川町、清川村)	803	53.7	423	27.4
合計	1496	100	1542	100

表2 現在の赤ちゃんの月齢

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
0	1	0.1	1	0.1
1	0	0.0	1	0.1
2	10	0.7	0	0.0
3	454	30.4	180	11.6
4	928	62.2	313	20.3
5	77	5.2	79	5.1
6	7	0.5	5	0.3
7	8	0.5	2	0.1
8	0	0.0	2	0.1
10	3	0.2	109	7.1
11	3	0.2	92	6.0
12	0	0.0	3	0.2
14	0	0.0	1	0.1
16	0	0.0	5	0.3
17	0	0.0	15	1.0
18	0	0.0	553	35.8
19	0	0.0	149	9.7
20	0	0.0	21	1.4
21	0	0.0	6	0.4

23	0	0.0	2	0.1
24	0	0.0	1	0.1
30	0	0.0	1	0.1
合計	1491	100	1541	100

表3 お母様の年代

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
10代	3	0.2	4	0.3
20代	406	27.2	310	20.2
30代	997	66.8	1091	70.9
40代	86	5.8	131	8.5
その他	0	0.0	2	0.1
合計	1492	100	1538	100

表4 出産場所

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
病院	990	66.8	1014	66.2
産院	490	33.0	513	33.5
自宅	2	0.1	3	0.2
その他	1	0.1	2	0.1
合計	1483	100	1532	100

表5 生後1か月までに、赤ちゃんは病気があると医師に言われましたか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	57	3.8	49	3.2
いいえ	1436	96.2	1492	96.8
合計	1493	100	1541	100

表 6 1 か月までに病気ありと診断された児の病名

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
A S P	0	0.0	1	2.1
G B S 感染症	1	1.9	0	0.0
R S ウィルス	1	1.9	0	0.0
V S D	0	0.0	1	2.1
アトピー	1	1.9	0	0.0
いちご状血管腫	0	0.0	1	2.1
エプスタイン奇形	0	0.0	1	2.1
クレチン症	2	3.8	0	0.0
そけいヘルニア	2	3.7	1	2.1
ダウン症	1	1.9	0	0.0
ファロー四徴症	0	0.0	1	2.1
ヘルニア	1	1.9	0	0.0
ポートワイン母斑 血管腫	0	0.0	1	2.1
ミルクアレルギー	1	1.9	0	0.0
胃かいよう	0	0.0	1	2.1
胃軸捻転	1	1.9	0	0.0
一過性多呼吸	1	1.9	0	0.0
黄疸	4	7.5	5	10.6
気胸	1	1.9	0	0.0
局路感染症	1	1.9	0	0.0
血管腫	2	3.7	0	0.0
口蓋裂	0	0.0	1	2.1
貢疸	0	0.0	1	2.1
高ビリルビン血症	0	0.0	1	2.1
修正大血管転位	1	1.9	0	0.0
心雑音	1	1.9	1	2.1
心室、心房中隔	0	0.0	1	2.1
心室中隔欠損症	3	5.6	6	12.8
心臓に小さな穴	0	0.0	1	2.1
新生児一過性多呼吸	1	1.9	1	2.1
新生児黄疸	0	0.0	3	6.4
新生児黄疸、停留精巣	1	1.9	0	0.0
水腎症	0	0.0	1	2.1
水腎症 黄だん	0	0.0	1	2.1
脊髄脂肪髄膜瘤	0	0.0	1	2.1
先天性心疾患	1	1.9	0	0.0

先天性乳び胸	0	0.0	1	2.1
先天性副腎過形成	1	1.9	0	0.0
染色体異常	0	0.0	1	2.1
鼠径ヘルニア	2	3.7	0	0.0
早産児 低出生体重児	0	0.0	1	2.1
多のう胞性異形	1	1.9	0	0.0
多血症	1	1.9	0	0.0
多血症 低血糖	0	0.0	1	2.1
大泉門肥大	1	1.9	0	0.0
単純性血管腫	1	1.9	0	0.0
男、血管腫。女、心室中隔欠損	0	0.0	1	2.1
低体重	1	1.9	0	0.0
停留こう丸	0	0.0	1	2.1
動脈管開存症	2	3.7	0	0.0
特発性嘔吐症	0	0.0	1	2.1
二分脊椎	0	0.0	1	2.1
脳梁欠損	1	1.9	0	0.0
肺炎 呼吸障害	0	0.0	1	2.1
肺高血圧症	1	1.9	0	0.0
肺動脈狭窄	0	0.0	1	2.1
肺動脈狭窄症	1	1.9	0	0.0
肥厚性幽門狭窄	1	1.9	0	0.0
鼻涙管閉塞	2	3.7	0	0.0
臍ヘルニア	0	0.0	1	2.1
百日咳	2	3.7	0	0.0
貧血	0	0.0	2	4.3
貧血、くる病疑	1	1.9	0	0.0
風邪	1	1.9	0	0.0
便秘	1	1.9	0	0.0
未熟児動脈管開存病	0	0.0	1	2.1
未熟児無呼吸症	1	1.9	0	0.0
未熟児網膜症	1	1.9	0	0.0
無呼吸症	2	3.8	0	0.0
有停留精巣	1	1.9	0	0.0
肛門周囲膿瘍	0	0.0	1	2.1
合計	54	100	47	100

表7 生後2か月から4か月までに、赤ちゃんは病気があると医師に言われましたか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	51	3.5	38	2.5
いいえ	1427	96.5	1493	97.5
合計	1478	100	1531	100

表8 2から4か月までに病気ありと診断された児の病名v

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
RSウイルス	1	2.1	1	2.7
RS気管支炎	0	0.0	1	2.7
アトピー	0	0.0	2	5.4
アトピー性皮膚炎	1	2.1	0	0.0
アレルギー結膜炎	0	0.0	1	2.7
イチゴ状血管腫	1	2.1	0	0.0
ウイルス性胃腸	1	2.1	0	0.0
エプスタイン奇形	0	0.0	1	2.7
おうだん	1	2.1	0	0.0
かぜ	5	10.4	1	2.7
そけいヘルニア	2	4.1	0	0.0
ソケイヘルニア	0	0.0	2	5.4
ダウン症	1	2.1	0	0.0
ミルクアレルギー	1	2.1	2	5.4
リンパ管腫	1	2.1	0	0.0
卵円孔開存症	1	2.1	0	0.0
黄疸	1	2.1	0	0.0
肝機能が低い	0	0.0	1	2.7
眼振	1	2.1	0	0.0
気管支炎、アトピー	1	2.1	0	0.0
結膜炎	0	0.0	1	2.7
血管腫	1	2.1	0	0.0
喉頭軟化症	1	2.1	0	0.0
細気管支炎	1	2.1	0	0.0
脂ろう性湿疹	0	0.0	1	2.7
斜視	1	2.1	0	0.0
出べそ	0	0.0	1	2.7
小児アトピー	1	2.1	0	0.0
食物アレルギー	0	0.0	1	2.7

心室中隔欠損症	0	0.0	3	8.1
水ぼうそう	1	2.1	0	0.0
水腎症	0	0.0	2	5.4
舌巾着症	0	0.0	1	2.7
先天性眼振	1	2.1	0	0.0
先天性乳び胸	0	0.0	1	2.7
先天性副腎過形	1	2.1	0	0.0
川崎病	0	0.0	1	2.7
鼠径ヘルニア	1	2.1	0	0.0
多のう胞性異形	1	2.1	0	0.0
大豆アレルギー	1	2.1	0	0.0
胆道閉鎖症の疑	1	2.1	2	5.4
中耳炎	1	2.1	0	0.0
停留精巣	1	2.1	0	0.0
乳児性湿疹	1	2.1	0	0.0
粘血便	1	2.1	0	0.0
鼻涙管閉塞	1	2.1	0	0.0
鼻涙管閉塞症	0	0.0	1	2.7
百日咳	0	0.0	1	2.7
病原性大腸菌	0	0.0	1	2.7
貧血	0	0.0	1	2.7
貧血、くる病疑い	1	2.1	0	0.0
風邪	5	10.4	3	8.1
風邪、消化不良	1	2.1	0	0.0
未熟児無呼吸症	1	2.1	0	0.0
未熟児網膜症	0	0.0	1	2.7
無呼吸症	1	2.1	0	0.0
肛門周囲膿瘍	2	4.1	2	5.4
膀胱尿管逆流症	1	2.1	0	0.0
臍ヘルニア	0	0.0	1	2.7
合計	48	100	37	100

表9 出生順番

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
1	955	64.5	982	64.2
2	399	26.9	420	27.4
3	108	7.3	112	7.3
4	14	0.9	13	0.8

5	4	0.3	4	0.3
8	1	0.1	0	0.0
合計	1481	100	1531	100

表 10 便カラーカードの認知

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	1442	97.0	192	12.5
いいえ	45	3.0	1346	87.5
合計	1487	100	1538	100

表 11 他の便カラーカードの認知

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	53	3.7	138	9.0
いいえ	1370	96.3	1395	91.0
合計	1423	100	1533	100

表 12 これまでに、赤ちゃんの便の色が「おかしい・不安」と感じて、病院にいきましたか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	111	7.5	177	11.6
いいえ	1373	92.5	1354	88.4
合計	1484	100	1531	100

表 13 便カラーカードを参考にして、「おかしい・不安」と感じたからですか？(病院に行った方のみ)

	N	%
はい	92	83.6
いいえ	18	16.4
合計	110	100

表 14 病院受診時の便色の番号は何番ですか？(参加・病院に行った方のみ)

	N	%
3	7	9.3
4	66	88.0
7	2	2.7
合計	75	100

表 15 発見された病気（参加・病院に行った方のみ）

	N	%
はい	1	1.1
いいえ	91	98.9
合計	92	100

表 16 診断された病名（参加・病院に行った方のみ）

	N	%
ウイルス性胃腸炎	1	100
合計	1	100

表 17 それは何を参考にして、「おかしい・不安」と感じたからですか（非参加・病院に行った方のみ）

	N	%
便色についての知識があったので	23	13.6
いつもと違うと感じて	115	68.0
その他	31	18.4
合計	169	100

表 18 表 17 その他の内容

	N	%
インターネット	3	9.7
ずっと水っぽい便が続いた為	1	3.2
まめっこに預けていたら先生がお	1	3.2
育児書/雑誌	6	19.4
血が混じっていた	6	19.4
血便	6	19.4
実家の母がおかしいと気にして	1	3.2
上の子と違ったので	1	3.2
熱、おう吐	1	3.2
白かった	2	6.5
腹満	1	3.2
便の色が白くウイルス性によるもの	1	3.2
緑がかった黒っぽい色だった	1	3.2
合計	31	100

表 19 発見された病気（非参加・病院に行った方のみ）

	N	%
はい	48	27.9
いいえ	124	72.1
合計	172	100

表 20 診断された病名（非参加・病院に行った方のみ）

	N	%
RS ウィルス	1	2.1
ウィルス性の何か	1	2.1
おなかのかぜ	1	2.1
お腹の風邪	1	2.1
かぜ	1	2.1
ぢ	1	2.1
ノタロウィルス	1	2.1
ノロウィルス	2	4.1
ノロウィルス	1	2.1
ビタミン K2 不足	1	2.1
ミルクアレルギー	1	2.1
ロタウィルス	12	25.0
胃腸炎	6	12.5
下痢	6	12.5
消化不良	1	2.1
多糖不耐症	1	2.1
大腸炎	1	2.1
大腸菌	3	6.2
腸えん	1	2.1
腸回転異常症	1	2.1
腸重積	1	2.1
乳児消化管アレルギー	1	2.1
風による消化管出血	1	2.1
便秘が原因の下痢	1	2.1
合計	48	100

表 21 「胆道閉鎖症」という病気の名前を聞いたことがありますか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	1057	71.6	633	41.5
いいえ	420	28.4	891	58.5
合計	1477	100	1524	100

表 22 「胆道閉鎖症」が、生後 2 か月までに発症する病気と知っていますか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	550	37.3	147	9.7
いいえ	924	62.7	1373	90.3
合計	1474	100	1520	100

表 23 「胆道閉鎖症」が、腸管の細くなる・詰まる病気と知っていますか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	534	36.2	297	19.6
いいえ	940	63.8	1221	80.4
合計	1474	100	1518	100

表 24 「胆道閉鎖症」が、「黄だん」が出る病気と知っていますか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	574	39.0	344	22.6
いいえ	899	61.0	1176	77.4
合計	1473	100	1520	100

表 25 「胆道閉鎖症」が、早期に治療することが重要な病気であることを知っていますか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	887	60.3	340	22.2
いいえ	584	39.7	1189	77.8
合計	1471	100	1529	100

表 26 赤ちゃんの便観察は健康管理に重要だと思いますか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	1476	99.9	1524	99.4
いいえ	2	0.1	9	0.6
合計	1478	100	1533	100

表 27 赤ちゃんの便観察をしていますか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
いつも	1274	86.1	1322	86.3
時々	185	12.5	180	11.7
あまりしない	18	1.2	27	1.8
全くしない	2	0.1	3	0.2
合計	1479	100	1532	100

表 28 便色カード(これ以外も含め)は手元にあったほうが良いと思いますか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	1401	95.4	1448	95.1
いいえ	67	4.6	75	4.9
合計	1468	100	1523	100

表 29 この便カラーカードを使用しましたか？(事業参加群)

	N	%
はい	1089	73.8
いいえ	387	26.2
合計	1476	100

表 30 便は何番の色であることが多かったですか？(事業参加群)

	N	%
2	3	0.4
3	21	2.6
4	225	27.7
5	472	58.1
6	42	5.2
7	48	5.9
8	1	0.1
合計	812	100

表 31 便カラーカードを使用しなかった理由(事業参加群のみ)

	N	%
心配ないから	208	53.9
面倒だから	29	7.5
その他	149	38.6
合計	386	100

表 32 表 31 その他の理由

	N	%
2人目な事もあり心配ないと思ってしまう	1	0.7
3人だった為なんとなくわかっていたから	1	0.7
USBA 検査を受けたので	1	0.7
いつも同じだから/異常なかった	38	25.5
そのままできていたため	1	0.7
そばになかった	2	1.3
だいたい異常のない便と分かっていたから	1	0.7
ついでの時に Dr. にきくと特に問題ないといわれたから	1	0.7
ネットで見ている	1	0.7
パッと見で大丈夫そうだから。白っぽくないので	1	0.7
ひよこくらぶを見た	1	0.7
ほとんど毎日みています。オムツをかえる Bed のところ	1	0.7
ほぼ健康な便で特に気になることがなかった	1	0.7
まだ心配になるようなことがないから	1	0.7
もらっていない為	2	1.3
わかりづらい	3	2.0
以前小児科に勤務しており、現在まで便色は問題なさそう	1	0.7
黄～緑色だったので大丈夫かと思って	1	0.7
黄だんが無くなりカードを処分してしまったので	1	0.7
機嫌が良く体調も良さそうだった為	1	0.7
気にならなかったから	4	2.7
疑問に思うような便ではなかったから	1	0.7
逆に親が不安になってしまう	1	0.7
具体的過ぎるカラー写真だったので思い込み防止の為	1	0.7
健康時のいつもの色が分かっていたから	1	0.7
検診時に医師に大丈夫といわれた	1	0.7
見た色が違ったから	1	0.7
見る余裕がなかった	1	0.7
今のところ以上がみられないから	1	0.7
今日もらった	1	0.7

最初に見たから	1	0.7
雑誌の便色カードとインターネットで調べた	1	0.7
子供がすぐなくした	1	0.7
持っていない為	3	2.0
時間が過ぎていた	1	0.7
写真だと分からない	1	0.7
手元にない	3	2.0
出産関連の書類と一緒にしまい込んでしまった為	1	0.7
助産師の為	1	0.7
助産婦さんに色々教えてもらっていたので	1	0.7
上の子の時と便が同じだったから	5	3.4
色の識別が難しいから	5	3.4
色を覚えていたから	8	5.4
新生児の頃だけ観察すればよいと思い今は使っていない	1	0.7
神経質になり、きりが無いから	1	0.7
大きいので便をかえているときに見くらべられない	1	0.7
知らなかった	5	3.4
比較しなければならぬ状況にならなかった	1	0.7
微妙な色の時に使用しようと思っているため	1	0.7
必要にならなかったから	1	0.7
病院でもらったのがあるから。	1	0.7
病院で必要ないと言われたから	1	0.7
紛失	4	2.7
変だなと思った時にみようと思っていたから。	1	0.7
便カラーカードの健康色の便しかでなかったから	1	0.7
母子手帳についてないから	1	0.7
母子手帳交付時にもらったが、しまいこんで	1	0.7
忘れていた	20	13.4
北保健センターの担当の人からもらったのを使用	1	0.7
問題が無いことが記載されていないから。	1	0.7
合計	149	100

表 33 この便カラーカードを持っていたら使用しましたか？(事業非参加群)

	N	%
はい	1464	96.3
いいえ	57	3.7
合計	1521	100

表 34 今回の便カラーカードには色見本が 2 枚ありましたが、枚数について教えてください(事業参加群)

	N	%
2 枚必要	201	14.3
できれば 2 枚	250	17.8
1 枚で十分	937	66.5
その他	20	1.4
合計	1408	100

表 35 表 34 その他理由(事業参加群)

	N	%
1 ヶ月前と以降のちがいがわからなかった	1	5.3
1 枚しかもらってない	1	5.3
2 枚あったが色の差がない様に感じた	1	5.3
2 枚あったとは覚えてません	1	5.3
2 枚あるのを知らなかった	2	10.5
2 枚の違いが不明	3	15.8
どちらでも良い	1	5.3
よく覚えていない	1	5.3
よく分からない	3	15.8
違いが分からない	2	10.5
汚れるので複数枚あってもいい	1	5.3
写真がいいです	1	5.3
枚数は少ない方が良いが情報は十分に欲しい	1	5.3
合計	19	100

表 36 色見本は、母子手帳内にくっついていて、切り離せなくてもよい(事業参加群)

	N	%
はい	807	55.9
いいえ	637	44.1
合計	1444	100

表 37 この便カラーカードに書かれた情報量はいかがですか？(事業参加群)

	N	%
もっと多い方が良い	252	17.5
これくらいが良い	1166	81.1
もっと少ない方が良い	20	1.4
合計	1438	100

表 38 いっしょに渡された資料は必要でしたか？(事業参加群)

	N	%
必要	964	67.4
不要	67	4.7
どちらでもない	398	27.9
合計	1429	100

表 39 増やしたほうが良い情報は何でしょうか？(事業参加群)

	N	%
便	300	26.2
胆道閉鎖症	532	46.5
便色と健康	846	74.0
カードの使い方	143	12.5
カードの保管の仕方	110	9.6
病院	136	11.9
その他	17	1.5

表 40 便カラーカードを使用したことでトラブルはありましたか？(事業参加群)

	N	%
はい	17	1.2
いいえ	1430	98.8
合計	1447	100

表 41 便カラーカードのホームページは見ましたか？

	事業参加群		事業非参加群	
	N	%	N	%
はい	29	2.0	20	1.3
いいえ	1433	98.0	1512	98.7
合計	1462	100	1532	100

表 42 一か月健診時の聞き取り結果

便色番号	一番薄かった時 (人)	現在(人)
2番	4	0
3番	14	1
4番	416	166
5番	222	464
6番	21	48
7番	8	33
回答なし	41	14
合計	726	726

表 43 便色変化

薄かったときの色→現在	人数
2→3	1
2→4	2
2→5	1
3→4	8
3→5	6
4→4	142
4→5	246
4→6	10
4→7	15

パイロット事業・便カラーカードに関するアンケート集計結果

回答者数 (27名)

回答者属性

- ・ 職 種
- ・ 保健師 (25名)
- ・ 保健師・助産師 (1名)
- ・ 医療職 (1名)

質問 と 回答 (回答者数)

1. 便カラーカードを配布してよかった (全体的な感想) と感じますか

1 よかった (23名)

→<主な理由>

- ・ 胆道閉鎖症の周知ができ、関心が高まったから。
- ・ 保護者への意識付けができ、児の便観察のきっかけになったから。
- ・ 病気の早期発見に役立つから。実際に早期発見された事例があったから。
- ・ 言葉で表現しにくい色でも目で見てわかるので。

2 よくなかった (0名)

3 どちらでもない (4名)

→<主な理由>

- ・ 事後の反応がなく、実際の効果が分からないので。
- ・ 病院でも配布されている場合があるので。

2. 便カラーカードは、住民 (保護者・児) に役立ったと思いますか

1 役立った (22名)

→<主な理由>

- ・ 児の便観察のきっかけになったから。
- ・ 医療機関への相談・受診につながったから。
- ・ 保護者への意識付けができたから。
- ・ 便を色見本と見比べることができ、判断や説明がしやすいから。
- ・ 住民から、役立ったという声がよせられたので。